

令和5年9月1日

やる気に満ちた笑顔に期待

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

本日から2学期がスタートしました。久しぶりに子どもたちの明るく元気な笑顔が学校に戻ってきました。一人ひとりの子どもたちがそれぞれ様々な夏休みの思い出をつくり、一回り大きくなった姿に逞しさを覚えました。

2学期は学校教育が最も充実する学期です。感染症、熱中症対策等については、考えられる全ての実行可能な方策を職員と共に確実に行っていきます。また、日々の教育活動や運動会等の学校行事につきましても、創意工夫を加えながら実施していきます。それらを通して、子どもたち一人ひとりが「知・徳・体」をバランスよく、そして、自己肯定感を高め、自己の成長を実感できる2学期にしてほしいと思います。

子どもたちと職員のやる気に満ちた表情がとても印象的な始業日となりました。「まだ先の話ですが、2学期終業式の日、日々がんばった自分に感謝できるといいですね。」と、オンラインではありましたが、子どもたちに一言添えておきました。

令和5年9月15日

敬老の日を前に父を想う

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

9月18日は敬老の日です。私の両親と同世代の方々、先の悲しい大戦の戦前、戦中、戦後の混沌とした世の中をたくましく生き抜き、高度経済成長に貢献され、平和な日本の礎を築いてこられた方々です。並大抵の苦勞ではなかったはず。たくさんの悲しみや苦勞を乗り越えてこられた方々だと想像に難くありません。

他界した昭和8年生まれの父親が、酒に酔えばいつも戦後の混乱期の話をしていました。「その当時はみんな苦しみの中にいた。しかし、苦勞を苦勞とも思わず、懸命に働いた。明日の幸せを信じて。物質的な豊かさはなかったが、今思えばとても楽しかった。夢はいくらでも見るのができたから。」と。

時代は昭和から平成、令和に変わりました。先行き不透明な昨今の内外情勢ですが、誰もが夢や希望を抱ける時代であってほしいと思います。

亡き父の生き様をもっと知り、もっと語り、素直に感謝の気持ちを伝えるべきだったと墓前にて手を合わせました。

令和5年9月24日

絆深める運動会

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

本日、霜出小学校運動会を開催しました。本年度も熱中症、感染症対策を考慮して午前開催としました。久しぶりに地域の競技も一部再開し、運動会の新たな試みも行いました。

練習期間中も含めて、様々なリスクへの対応に悩みの尽きない日々でした。当日は、来賓、保護者、地域の方々の御協力のもと、盛大且つ無事に終了することができました。御参加くださった全ての方々に心より御礼申し上げます。子どもたちにとりましても日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、心に残る運動会になったと思います。

人は一生懸命に取り組み、励む姿に素直に感動するものです。感動とは文字通り心が感じて、動くことです。子どもたちのひたむきに走る姿や表現運動、そして、応援の大きなかけ声や演舞に思わず涙腺が緩みました。

保護者や地域の方々の嬉々とした表情に、改めて絆づくりや連携の大切さを強く感じました。様々な連携方策を模索し、お互いの教育効果を更に高めていきたいと思えます。今後も本校教育活動への変わらぬ御支援、御協力、よろしく願いいたします。